

2026 年 10 月 21 日

【新刊発売のご案内】

迷子になった「社会人」のための哲学の時間

著：谷川嘉浩 監著：博報堂 人材開発室・博報堂ケトル

株式会社博報堂(本社:東京都港区、代表取締役社長:名倉健司、以下博報堂)の人材開発室と博報堂ケトルはこのたび、谷川嘉浩氏との新刊『迷子になった「社会人」のための哲学の時間』が出版されたことをお知らせいたします。

本書は、2025 年度に実施した当社の社内研修「哲学ゼミ」における対話を追体験できる形で収録した一冊です。スキルや知識だけでは対応しきれない時代に、自分自身や仲間と共に、問い、考え、判断する力をいかに育むか。「答えのない問い」に対して、哲学者・谷川嘉浩氏と共に、社員が 8 か月間にわたって考え続けた軌跡をまとめました。仕事と私生活の両面に関わる「言葉」「家」「幸福」「時間」という 4 つのテーマについて、講義と白熱した対話を収録しています。

哲学ゼミでは、ビジネスの現場で求められがちな「きれいなオチ（結論）」へいたる手段としての「スライド発表」をあえて禁止。その場で上手に話すことや体裁を取り繕うのではなく、たどたどしくても言葉を使い尽くすことに注力しました。働くことや暮らすことの中で誰もが抱く違和感や迷いについて、参加した社員たちが自らの経験を持ち寄りながら、率直な対話を重ねました。

即座の判断やわかりやすい正解が求められる現代において、あえて立ち止まり、未知なる問いに向き合う「哲学の時間」。複雑な日常を生きる社会人が、自分のペースで立ち止まり、迷いながら「別解」を模索するためのヒントとなる一冊です。



迷子になった「社会人」のための哲学の時間

著者：谷川 嘉浩

監著：博報堂人材開発室、博報堂ケトル

仕様：四六判 378 ページ

価格：2,200 円（税込）

発行：KADOKAWA

発売日：2026 年 10 月 21 日

リンク：<https://www.amazon.co.jp/dp/4048117599>

目次

はじめに

第1部 言葉

対話篇 何でも「言語化」はよいこと？

COLUMN 哲学のガイドとして注意した三つのこと

第2部 家

対話篇 居心地いい場所、どう作る？

COLUMN 迷いの哲学、あるいはC. S. パースの「疑い」について

第3部 幸福

対話篇 私たちの「幸せ」はどこに？

COLUMN 実存哲学の復権

第4部 時間

対話篇 「自分の時間」があればいいのか？

COLUMN もう少し哲学を学んでみたくなったら

巻末対談——谷川嘉浩×嶋浩一郎

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 白川・塚田 koho.mail@hakuodo.co.jp